

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2021)の実績と自己評価

😊 : 2021年度目標達成

😐 : 2021年度目標未達成(達成率90%以上)

😞 : 2021年度目標未達成(達成率90%未満)

① 総合

重点テーマ	管理指標 (KPI)	対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績	該当ページ	
商品・サービス	環境を切り口にした商品・サービスを開発・販売し、環境と企業収益の両立を推進	環境貢献事業の売上高	グループ	12,277億円	12,564億円	14,000億円	13,969億円	😐 023、151

② 気候変動の緩和と適応

重点テーマ	管理指標 (KPI)	対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績	該当ページ	
調達	主要サプライヤーにおける目標設定および取り組み推進に向けた支援	主要サプライヤーの温室効果ガス削減目標設定率(自主目標)	グループ	70.6%	80.4%	90%	87.7%	😐 029、033、155
事業活動	新築施設のZEB化、既存施設の省エネ運用改善および計画的な設備更新の継続 再生可能エネルギー(風・太陽・水・バイオマス)による発電事業の拡大	GHG排出量(売上高あたり) 2015年度比	グループ	31.9%削減	39.3%削減	35%削減	41.4%削減	😊 033
		エネルギー効率(EP100) 2015年度比	グループ	1.34倍	1.46倍	1.4倍	1.47倍	😊 033、168
		再エネ利用率(RE100)	グループ	0.3%	8.5%	10%	18.2%	😊 033、036、157、159、168
		再エネ発電率	グループ	96%	133%	100%	131%	😊 033、036、157、159、168
商品・サービス	ZEH・ZEB・グリーンビルディング認証の推進	商品の使用によるGHG排出量(面積あたり) 2015年度比	グループ	15.3%削減	20.9%削減	6%削減	34.9%削減	😊 033、167
		ZEH 販売率	大和ハウス工業	41%	58%	70%	63%	😐 033、037、160
		ZEB 販売率	グループ	33.4%	39.6%	40%	44.1%	😊 033、038、160
		グリーンビルディング認証取得率	大和ハウス工業	4.8%	75.5%	80%	91.6%	😊 038、154

③ 自然環境との調和(生物多様性保全)

重点テーマ	管理指標 (KPI)	対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績	該当ページ	
調達	持続可能な木材調達の推進	Sランク木材比率	グループ	94.3%	95.1%	97%	94.0%	😐 046、048、169
		Cランク木材比率	グループ	0.6%	0.5%	0.0%	1.1%	😐 046、048、169
事業活動	自社・グループ会社施設における緑化の推進	緑あふれる*自社施設の開発件数 ※JHEP、ABINC、SEGES	グループ	7件(累計)	8件(累計)	9件(累計)	10件(累計)	😊 046、170
	サービス施設におけるプラスチック3R活動	レジ袋購入量 2017年度比	ロイヤルホームセンター 大和リゾート	0.7%増加	50.6%削減	70%削減	78.0%削減	😊 046
商品・サービス	開発・街づくりにおける緑の保全・創出の推進	生物多様性自主基準適合率(開発)	グループ	100%	100%	100%	100%	😊 046

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2021)の実績と自己評価

 : 2021年度目標達成

 : 2021年度目標未達成(達成率90%以上)

 : 2021年度目標未達成(達成率90%未満)

④ 資源循環 (長寿命化・廃棄物削減)

重点テーマ		管理指標 (KPI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
事業活動	建設廃棄物における3R活動の推進	建設廃棄物排出量 (売上高あたり)	生産	グループ	61.4kg/百万円	61.2kg/百万円	62.0kg/百万円	57.5kg/百万円		052、174
		建設廃棄物排出量 (㎡あたり)	新築		18.7kg/㎡	21.1kg/㎡	19kg/㎡	20.0kg/㎡		
		建設廃棄物リサイクル率			97.1%	97.7%	97%以上	97.7%		
		廃プラスチックのリサイクル率			91.2%	91.7%	90%以上	93.4%		

⑤ 水環境保全

重点テーマ		管理指標 (KPI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
事業活動	水リスクの把握と低減 自社施設、住宅・建築物の水使用量削減	水使用量 (売上高あたり) 2012年度比		グループ	33.7%削減	48.3%削減	34%削減	46.8%削減		052、176
商品・サービス		居住用途およびホテルにおける節水器具の採用率			89.0%	96.8%	97%	93.4%		177

⑥ 化学物質による汚染の防止

重点テーマ		管理指標 (KPI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
事業活動	生産段階における化学物質の削減	PRTR対象化学物質排出・移動量 (売上高あたり) 2012年度比		グループ	56.8%削減	63.0%削減	57%削減	69.3%削減		058、178
		VOC排出量 (売上高あたり) 2013年度比			12.5%削減	23.7%削減	15%削減	36.8%削減		
商品・サービス	居住系施設における室内空気質のさらなる改善	室内空気質自主基準適合率			97%	96%	100%	96%		058

⑦ 環境教育

重点テーマ		管理指標 (KPI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
環境経営人財の育成、全社員の環境意識・知識の向上		eco検定取得者数		グループ	8,218名	11,818名	15,000名	19,033名		026、152
		グリーン購入比率			96.1%	96.0%	95%	95.6%		153

社会性中期計画(エンドレス ソーシャル プログラム 2021)の実績と自己評価

 : 2021年度目標達成

 : 2021年度目標未達成(達成率90%以上)

 : 2021年度目標未達成(達成率90%未満)

①イノベーション基盤

重要課題	評価指標 (KGI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
	指標	ベンチマーク							
1. 社会課題の解決に資するイノベーション体制の構築	社会課題解決に資する新規事業・研究開発に関するイノベーション創出の協業数	2018年度実績より設定	大和ハウス工業	数値は非開示		2018年度をベンチマークに量・質の高水準を維持	数値は非開示		077~079、182
2. 不動産開発における社会的包摂（インクルージョン）の推進	まちづくりガイドラインに基づいた大型案件・各事業部大型物件の開発比率	制度構築前のため数値なし		体制構築	体制構築	70%	体制構築	—	077、080~082、182~183

②人財基盤

重要課題	評価指標 (KGI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
	指標	ベンチマーク							
3. 従業員の働き方改革（成果の最大化と安全かつ健康な職場環境の両立）	従業員全世代の「働きがい」に関する実感度 ※Sustainability Surveyの「働きがい」に関する設問より算出。	2018年度：65%	大和ハウス工業	65%	71%	80%	77%		084、086~088、184
4. 人材育成と採用強化（2030年の企業グループを見据えた体制構築）	若年社員（入社3年目まで）の定着率	2017年度：82.6% ※2015年4月入社社員		75.4%	78.6%	90%以上	76.6%		084、089~091、184
5. ダイバーシティ&インクルージョン	ダイバーシティ&インクルージョン総合指数 ※下記項目より算出。最終年度の翌年度4月1日数値を把握		大和ハウス工業	—	—	—	—	—	085、092、185
	①管理職女性比率	2017年度：3.3% ※2018年4月1日実績		4.1%	4.5%	5.0%	4.9%		
	②女性管理職ライン長比率	2017年度：27.6% ※2018年4月1日実績		25.0%	21.5%	40.0%	22.6%		
	③女性工事比率	2017年度：4.3% ※2018年4月1日実績		4.9%	4.9%	6.0%	4.8%		
	④女性営業比率	2017年度：9.1% ※2018年4月1日実績		10.2%	9.9%	13.0%	10.2%		
	⑤新卒採用女性比率	2017年度：28.4% ※2018年4月1日実績	24.8%	23.5%	30.0%	25.8%			

社会性中期計画(エンドレス ソーシャル プログラム 2021)の実績と自己評価

👍: 2021年度目標達成

👎: 2021年度目標未達成(達成率90%以上)

👎: 2021年度目標未達成(達成率90%未満)

③ 技術・ものづくり基盤

重要課題	評価指標 (KGI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
	指標	ベンチマーク							
6. 施工現場の安全・安心の徹底	施工現場労働災害の度数率 ※100万延実労働時間あたりの労働災害による死傷者数(休業4日以上)	2018年度: 0.23	大和ハウス工業	0.19	0.16	0.21	0.24	👎	094、096~097
	取引先企業との連携によるものづくりの生産性向上	2018年度: 77日 2017年度: 105日		88日 ^{※1} (4週6休)	100日 ^{※2} (4週7休)	112日 (4週8休)	112日 (4週8休)	👍	
8. グループCSR調達の促進と効率化	①主要取引先におけるCSR調達ガイドライン適合比率(80点以上を適合と判定)	制度構築前のため数値なし	グループ	42.4%	44.2%	70%	44.9%	👎	095、102~105
	②全取引先へのCSR調達ガイドラインにもなうセルフチェックの回答率	15.1%		19.7%	43.5%	70%	45.3%	👎	

※1 施工現場の2019年度目標休日88日に対して実績は現状未確認。2018年度の目標休日77日については93%の取引先が取得(取引先アンケート調査2019より)

※2 顔認証入退場現場の集計。指定休工実施を平均約80%の現場で達成

④ 顧客基盤

重要課題	評価指標 (KGI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
	指標	ベンチマーク							
9. コーポレートコミュニケーションの強化(对生活者(将来の顧客))	①インターブランド社 Japan's Best Domestic Brand/ブランド価値金額	595百万 USD	グループ	700百万 USD	700百万 USD	1,000百万 USD	731百万 USD	👎	107~109
	②日経企業イメージ調査/好感度(一般人)	45.1%		44.1%	52.4%	70%	47.5%	👎	
	③日経企業イメージ調査/一流評価(ビジネスパーソン)	63.4%		71.7%	68.7%	90%	69.4%	👎	
10. 顧客長期リレーション対応の促進	顧客基盤を活かした受注率(住宅紹介販売率)	39.6%	大和ハウス工業	37.4%	39.9%	70%	41.4%	👎	107、110~111

⑤ コミュニケーション基盤

重要課題	評価指標 (KGI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
	指標	ベンチマーク							
11. 財務・非財務コミュニケーションの制度・仕組みの確立と、統合経営への理解促進	財務・非財務コミュニケーションの制度・仕組みの確立と、統合経営への理解促進	制度構築前のため数値なし	グループ	運用開始	運用開始	運用開始	運用開始	👍	113~115、186
	12. 激変するコミュニケーション変革基盤の確立	個人の情報武装を実現させるコミュニケーション環境への対応(従業員のITリテラシーの向上)	制度構築前のため数値なし	大和ハウス工業	—	—	—	—	
①社内外ステークホルダーとの各種情報を共有できる機能を構築	制度構築前のため数値なし	運用開始	運用開始	運用開始	運用開始	👍			
②社内情報を有効活用できる機能を構築	体制構築	体制構築	運用開始	運用開始	👍				
③当社グループ会社へコミュニケーション基盤導入支援	体制構築	体制構築	運用開始	運用開始	👍				

⑥ リスク対応基盤

重要課題	評価指標 (KGI)		対象範囲	2019実績	2020実績	2021目標	2021実績		該当ページ
	指標	ベンチマーク							
13. 災害・異常気象を前提とした事業実施体制の確立	事業継続体制スコア【点】 ^{※3} (6つのテーマの取り組み状況をスコア化し、BCM部会メンバーにて評価)	制度構築前のため数値なし	グループ	44点	66点	100点	86点	👎	119、121~122
	14. 人権デューデリジェンスの確立	工場における人権デューデリジェンスプロセスの手法を確立	制度構築前のため数値なし	大和ハウス工業	未着手	情報収集	運用開始	体制構築	
15. 企業倫理・コンプライアンスの確立	内部統制体制充実度スコア ^{※4}	2017年度: 388 ※15%の上昇を2021年度の目標とする。	グループ	397.4	705.2	447	782.0	👍	120、124~126
	16. グローバル展開に向けた長期視点での経営基盤の構築	海外拠点におけるSustainability Surveyスコアの改善率 ※大和ハウス工業100%出資の海外グループ会社の従業員を対象	制度構築前のため数値なし	グループ	情報収集	運用開始	ベンチマーク+5pt	運用開始	

※3 6つの指標の進捗度より算出 ①従業員の安全確保 ②電源確保および情報システムのバックアップ体制強化 ③引渡し済顧客の支援体制強化 ④生産購買機能の維持 ⑤グループ全体の機能維持 ⑥顧客の長期リスクをふまえた開発体制の確立

※4 右記より算出。

1. 内部統制体制の充実度 ①情報収集・共有体制(リスク情報などの報告・共有状況) ②管理・監督体制(内部統制委員会などの管理・監督機関の運用状況) ③研修・啓発体制(社内研修や社内通達などの啓発活動の実施状況)
2. 損害・損失の程度 ①経済的損失の程度や、重大案件の発生状況など